

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の詳細で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

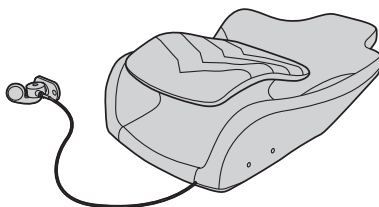
★用意していただくもの……
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)

完成図

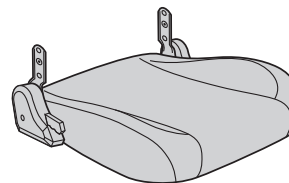


組立て部品

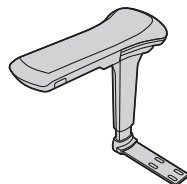
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNCL12など)と
下記の部品番号(①~⑮)と部品名(キャスターなど)をお知らせください。



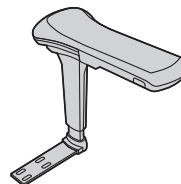
①背もたれ×1個



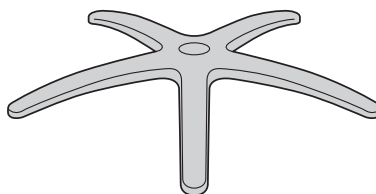
②座面×1個



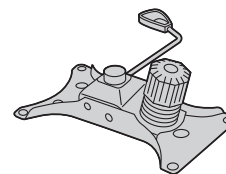
③肘あて(右)×1個



④肘あて(左)×1個



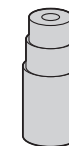
⑤レッグフレーム×1個



⑥座面ブラケット×1個



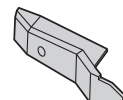
⑦ガスシリンダー×1本



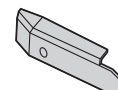
⑧シリンダーカバー×1個



⑨キャスター×5個



⑩カバー(右)×1個



⑪カバー(左)×1個

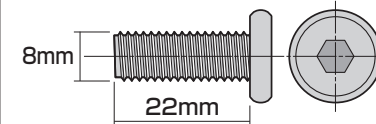


⑫キャップ×2個

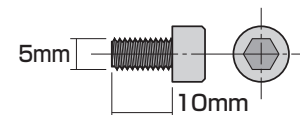


⑮六角レンチ(5mm)×1本

使用ボルト



⑬ボルトA×16本 (M8×22)



⑭ボルトB×2本 (M5×10)

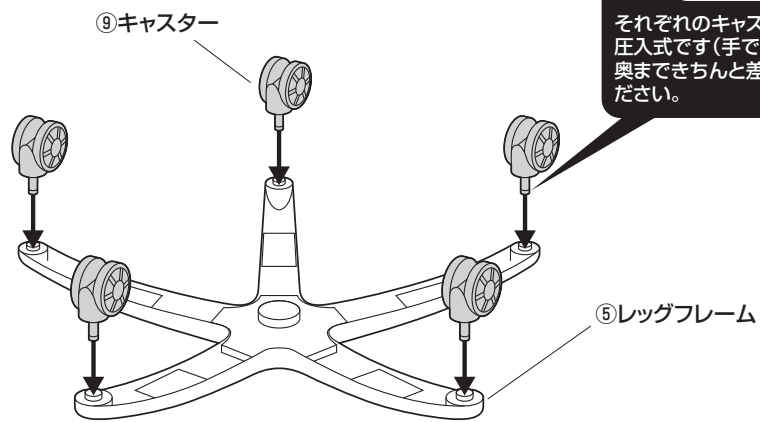
チェアの品質表示

構造部材:座部/合板 背もたれ部/合板 肘あて部/PU
脚部/スチール キャスター部/ナイロン
張り材:PUレザー
クッション材:ウレタンフォーム

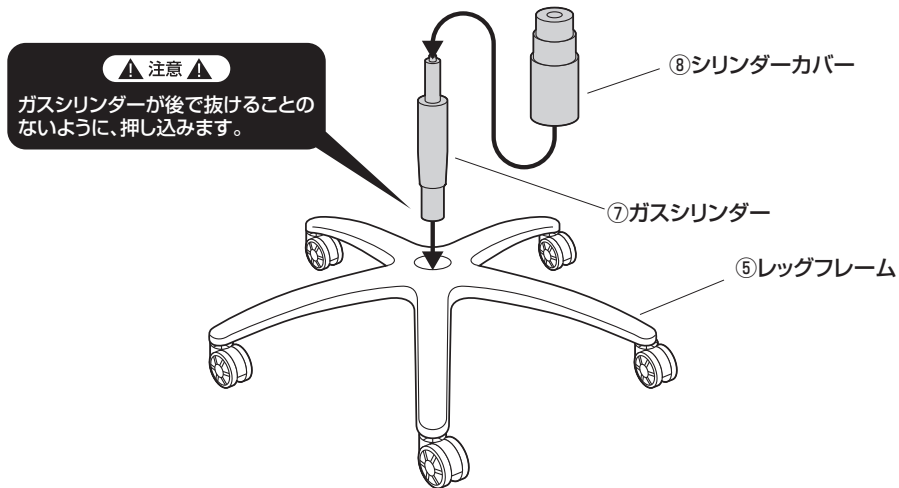
⚠ 使用上の注意 ⚠

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面の上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

1 レッグフレームにキャスターを取付けます。

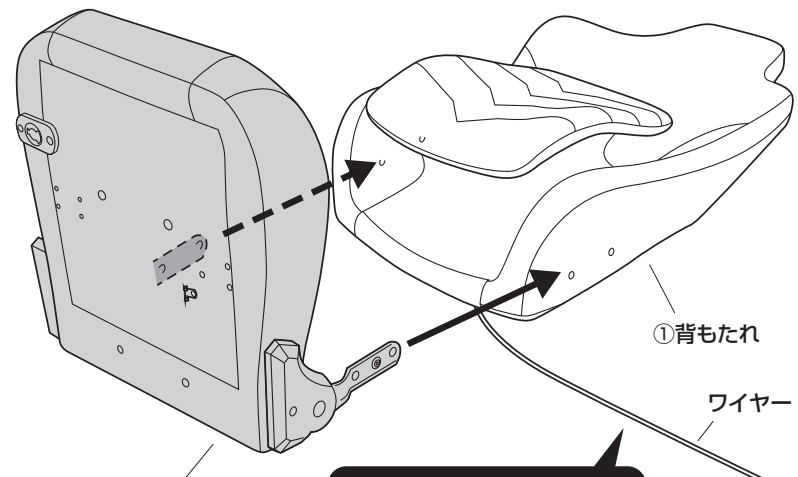


2 レッグフレームをひっくり返し、ガスシリンダーを取付けます。

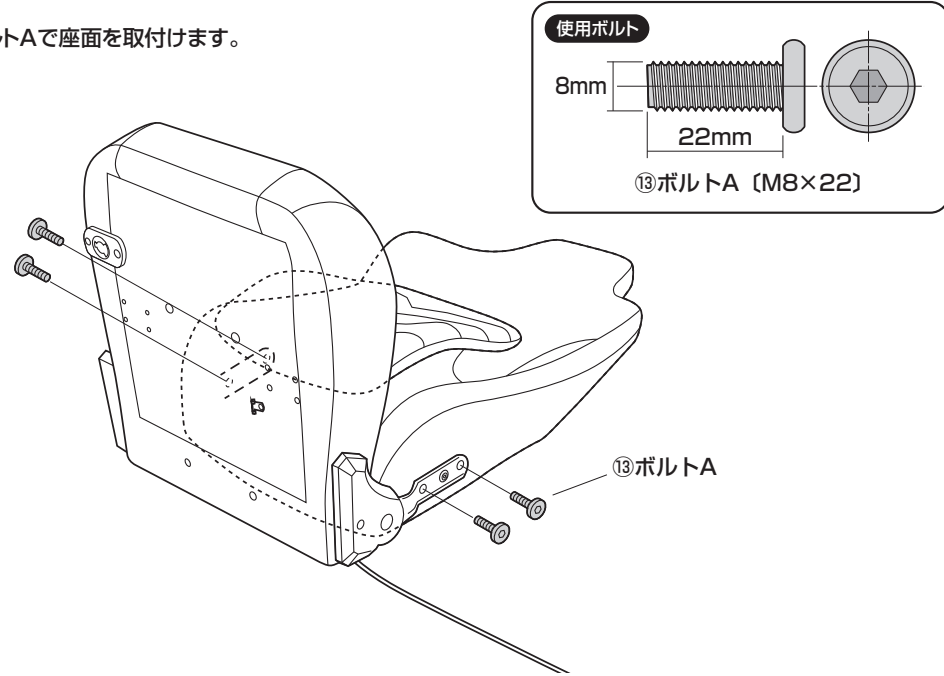


3 背もたれに座面を取付けます。

① 背もたれに座面を差込みます。



② ボルトAで座面を取付けます。



4 座面に座面ブラケットを取付けます。

① ボルトをゆるめに座面ブラケットを取付けます。

⑬ ボルトA
※ゆるめに取付けます。

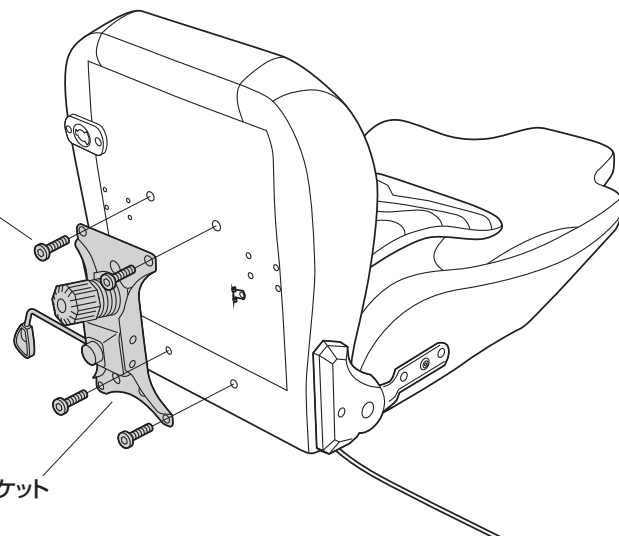
⑥ 座面ブラケット

使用ボルト

8mm

22mm

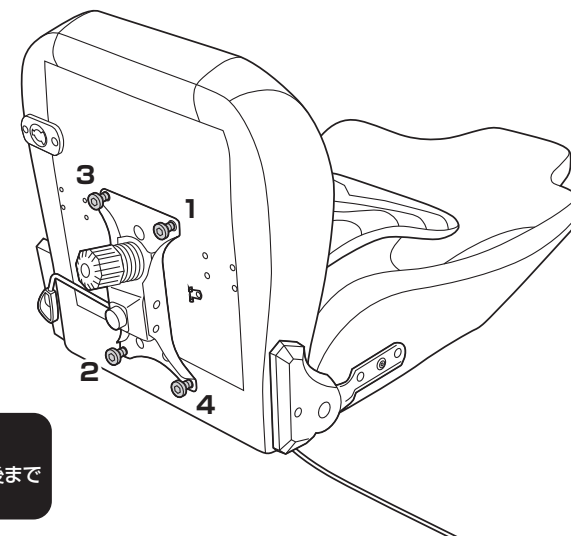
⑬ ボルトA (M8×22)



② ボルトを均等に少しずつ締め込み、1、2、3、4の順にきつく締め込んで固定します。

▲ 注意 ▲

ボルトはしっかりと最後まで締め込んでください。



5 座面裏にレバーを取付けます。

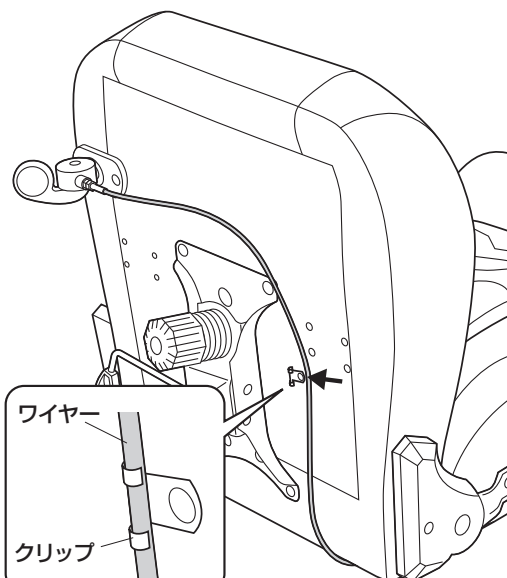
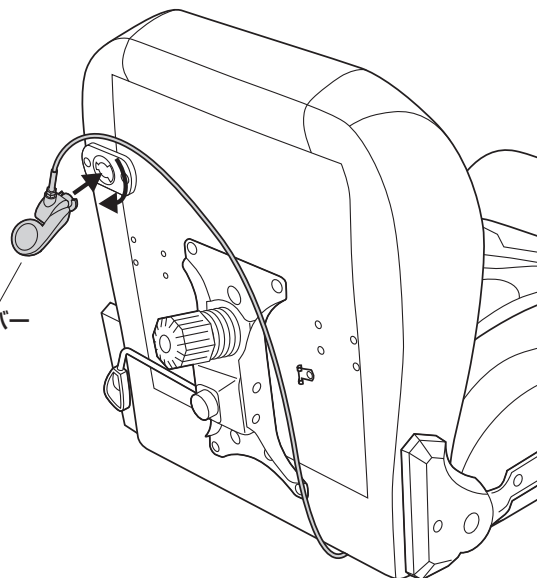
① レバーを座面に差し込み右に回して固定します。

② ワイヤーをクリップに押し込んで固定します。

レバー

ワイヤー

クリップ



6 座面に肘あてを取付けます。

使用ボルト

8mm

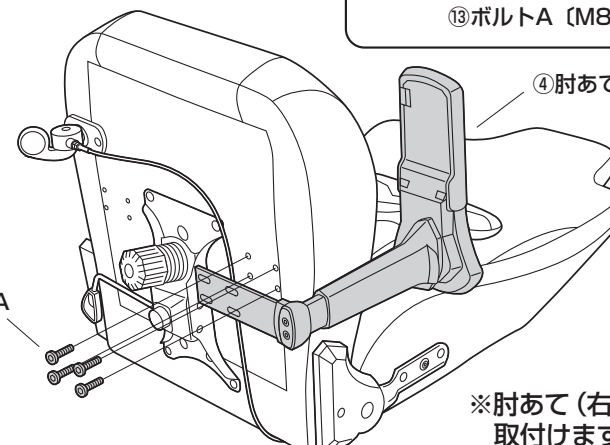
22mm

⑬ ボルトA (M8×22)

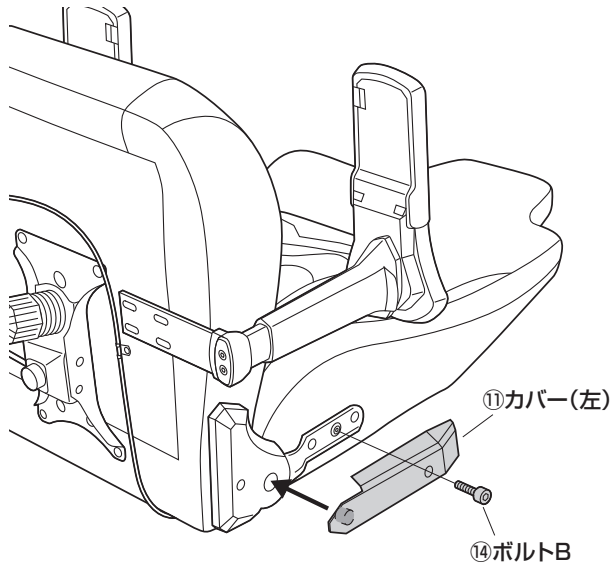
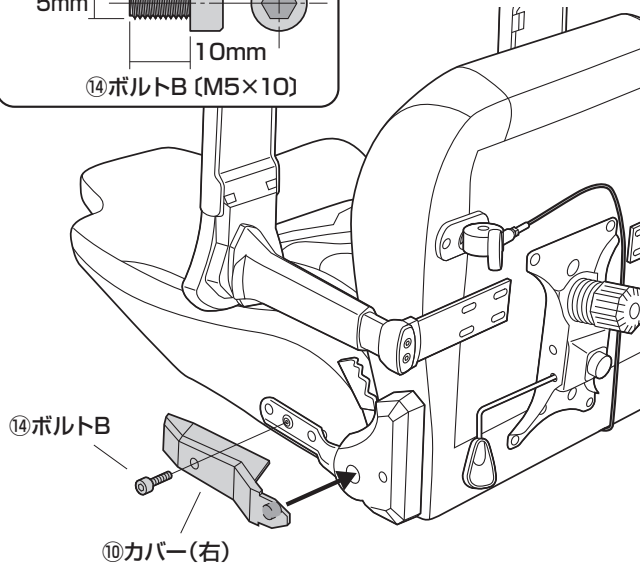
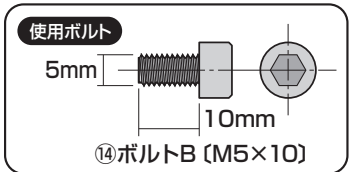
④ 肘あて(左)

⑬ ボルトA

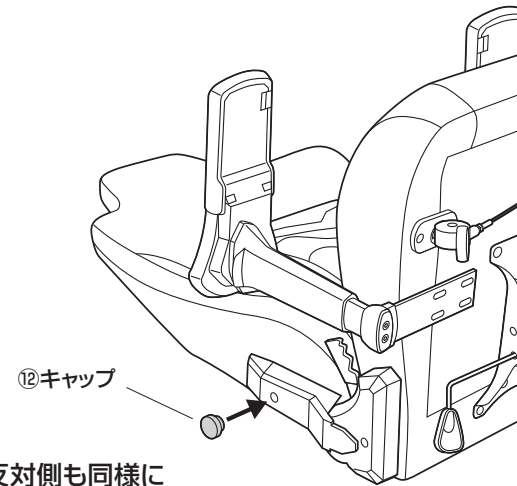
※肘あて(右)も同様に取付けます。



7 背もたれにカバーを取付けます。



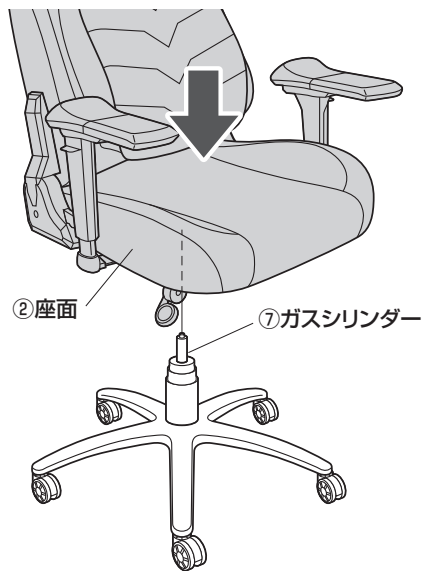
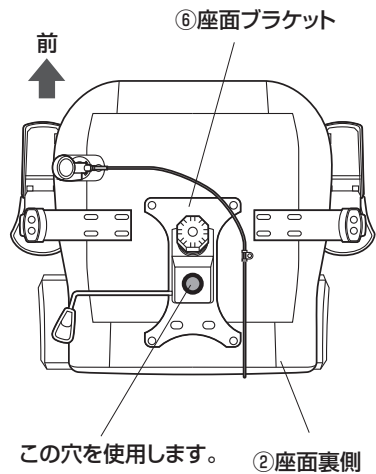
8 カバーにキャップを取付けます。



※反対側も同様に取付けます。

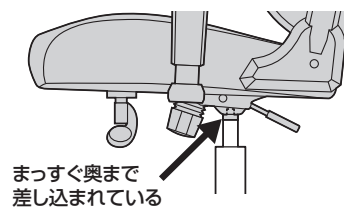
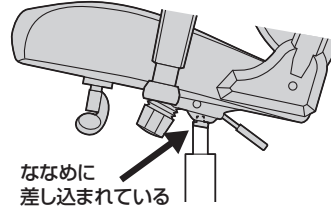
9 ガスシリンダーに座面を取付けて、完成です。

下から見た図

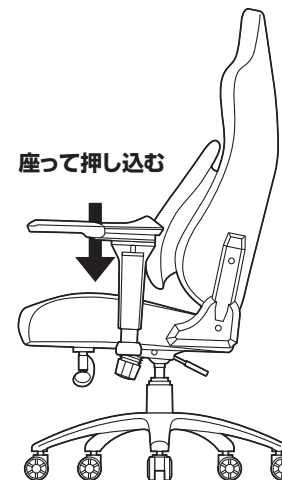


▲ 注意 ▲

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。
座面ブラケットがななめに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。



※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
※体重の軽い方では、ガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。

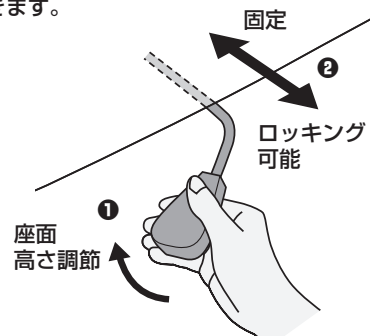
高さの調節とロックングの方法



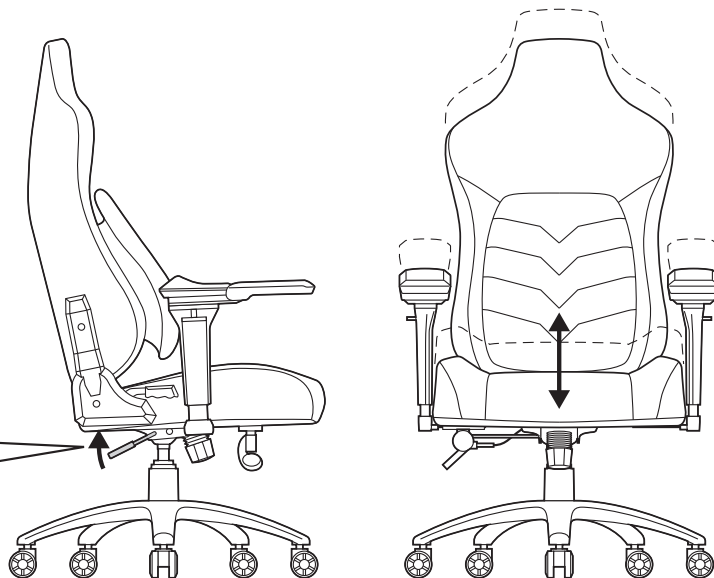
注意

レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。
正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差込まれていない場合がありますので、座面を差込み直してください。

- ①レバーを矢印の方向へ引き上げると座面の高さ調節ができます。

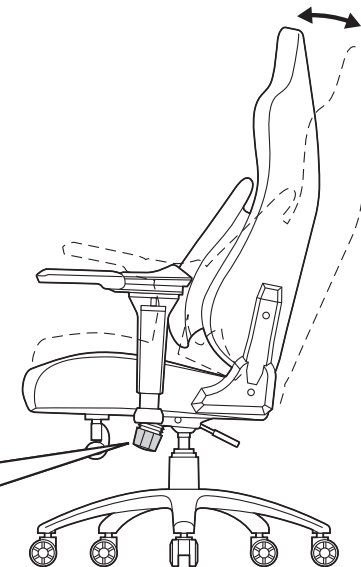
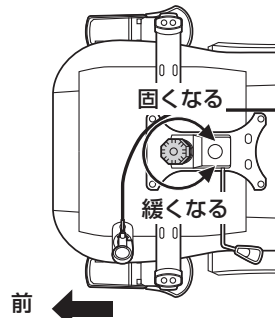


- ②レバーが差し込まれた状態ではロックングが固定されています。レバーを引き出すと、ロックングできます。
※任意の角度での固定はできません。



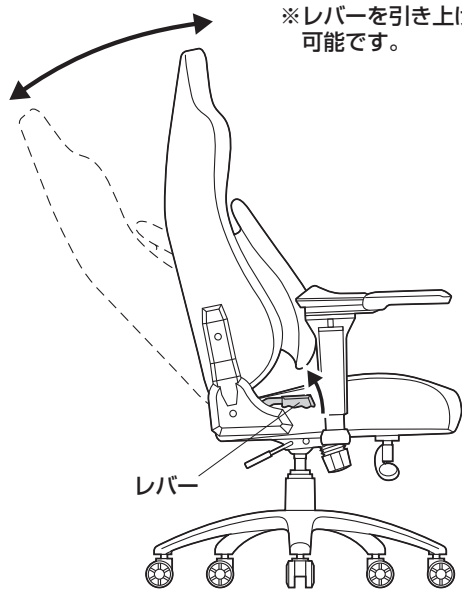
下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロックングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



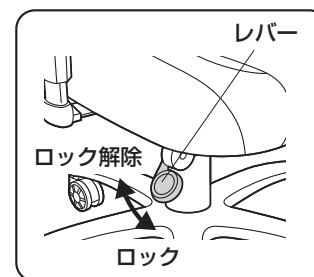
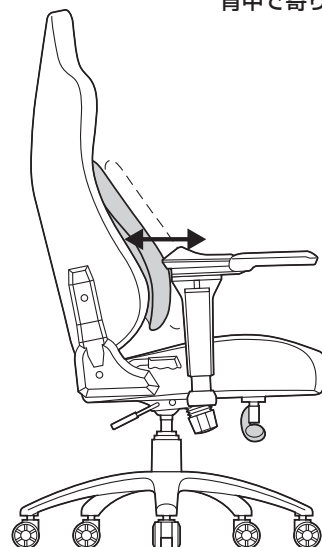
リクライニングの方法

※レバーを引き上げるとリクライニング可能です。

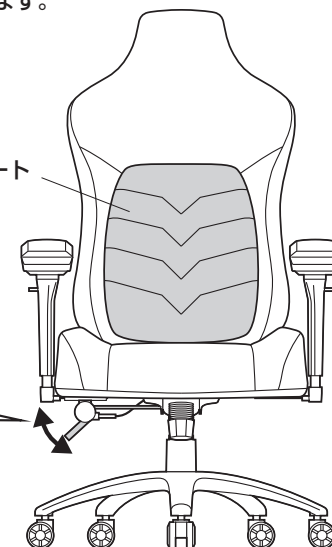


ランバーサポートの調節方法

※レバーを引き上げるとランバーサポートが前方に出てきます。背中で寄りかかり、任意の位置でレバーを下げてロックします。

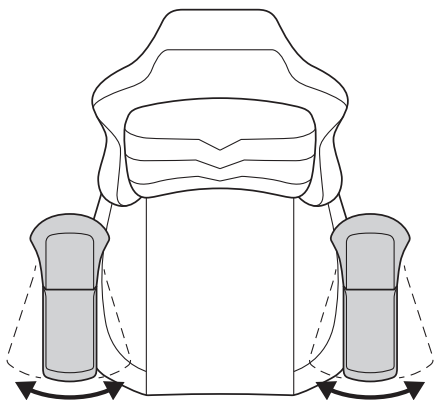


ランバーサポート

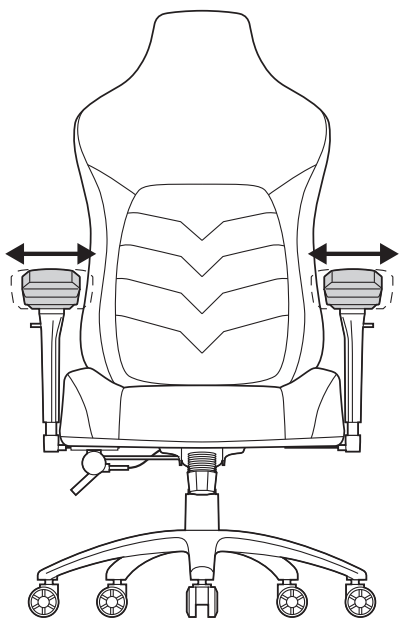


肘あての調節方法

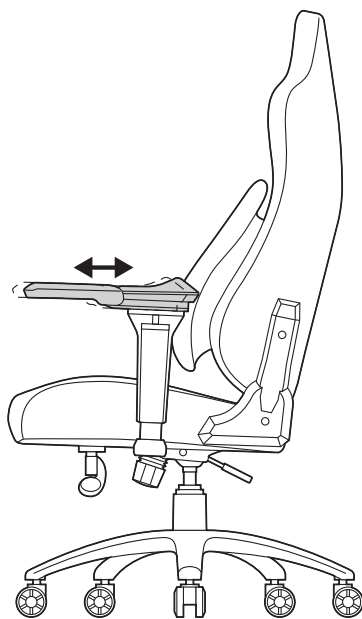
※左右に角度を変えることができます。



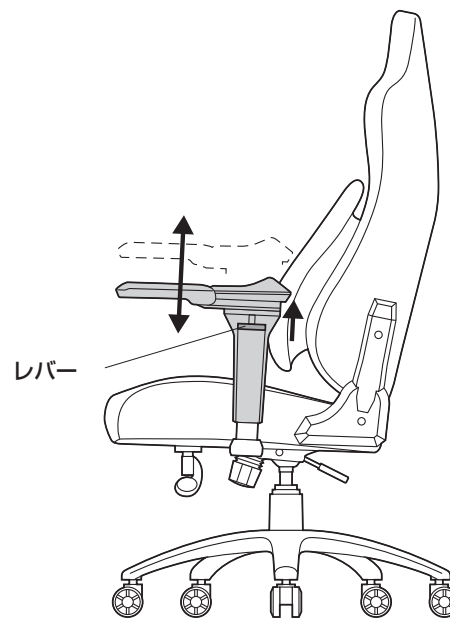
※左右にスライドさせることができます。



※前後にスライドさせることができます。



※レバーを引き上げると高さを
変えることができます。



※肘あて内側のボタンを押すと先端の
角度を2段階に変えることができます。

